アムステルダム国立美術館とは

ヨーロッパ切っての芸術大国オランダ。オランダが最も栄え黄金時代と呼ばれる17世紀を中心とした傑作名画の数々から、歴史的遺産や美術工芸品まで、オランダが世界に誇る至宝を集めた国内随一の美術館。そのコレクションはパリのルーブル美術館やロンドンの大英博物館にも匹敵する。ゴッホ美術館と並ぶアムステルダムの観光名所。

主な所蔵品：レンブラント「夜警」、フェルメール「牛乳を注ぐ女」etc.

“市民のための美術館”をめぐって、てんやわんやな大騒動が勃発！！

ヨーロッパ有数のアムステルダム国立美術館の大規模な改築工事が2004年に始まった。意気揚々と“みんなに愛される美術館”を理想に掲げる館長や、展示の見直しをはかる学芸員たち。そして大プロジェクトに試行錯誤する建築家。だが彼らが満を持して発表した計画に、サイクリスト協会を始めとする地元民は猛反発。一気に大騒動が巻きおこる。各々の意見や思惑がとびかい、計画は二転三転、やがて工事が中断する事態にまで発展し…。同美術館は、2010年の今もまだ工事中のまま。“市民のための美術館”は、いったいどうなるのだろうか！？

展示室では見ることのできない美術館の舞台裏と、夢と涙と笑いと本音の人間模様が詰まったドキュメンタリー。

改築工事にまつわる大騒動という、美術館に関わる人々によって繰り広げられるドラマティックな出来事を描いた本作。美術館スタッフから市民まで、異なる立場から語られる本音のぶつかり合いと、一癖も二癖もありながら人間的な魅力に溢れる彼らの素顔が、包み隠さずカメラに収められている。その様子は美術館が威厳に満ちた単なる建造物ではなく、喜怒哀楽と美術館への愛に満ちた生身の人々が創り出す、生きた空間であることを教えてくれる。また展示構成の議論や絵画の修復など見たことのない美術館の舞台裏が余すとこなく収められているのも大きな見所の一つだ。

ようこそ、アムステルダム国立美術館へ

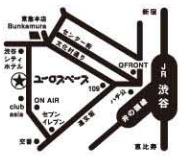
監督：ウケ・ホーヘンダイク、出演：アムステルダム国立美術館の館長、学芸員ほか
オランダ／2008年／カラー／デジタル／117分　www.ams-museum.com

8月21日（土）よりロードショー

特別鑑賞券•1,400（税込）絶賛発売中！

劇場窓口でお買い求めの方に先着でアムステルダム国立美術館オリジナル名画ポストカードをプレゼント。

当日料金　一般1,700円　大学／専門学校生1,400円　会員／シニア1,200円　高校生800円　中学生以下500円（いずれも税込）

渋谷・文化村前交差点左折
ユーロスペース
EUROSPACE
03-3461-0211 www.eurospace.co.jp

11:00
13:30
16:00
18:30